

日蓮大聖人御書全集

さじきのにようぼうごへんじ

棧敷女房御返事

いふくくよう こと

（衣服供養の事）

さじきのようぼうごへんじ いふくくよう こと

棧敷女房御返事（衣服供養の事）

こうあん

ねん

がつ

にち

さい

さじきのようぼう

弘安5年('82) 2月17日

61歳

棧敷女房

しろ

帷

ぬのいち

た

お

白きかたびら、布一□給び了わんぬ。

ほけきよう

くよう

進

そうろう

じつしゆ

供

養

もう

じゆう

法華經を供養しまいらせ候に、十種くようと申す十の

様

そうろう

なか

いふく

もう

そうろう

そうら

よう候。その中に衣服と申し候は、なににても候え、

そう

着 そうろうもの

供 養

そうろう

いんねん

説

そうろう

僧のき候物をくようし候。その因縁をとかれて候に

かこ

じゆうまんおく

ほとけ

供

養

ひと

ほけきよう

ちか

は、過去に十万億の仏をくようせる人、法華經に近づき

そうろう

そうら

まいらせ候とぞとかれて候え。

粗

々 もう

そうら

み

労

そうろう

あらあら申すべく候えども、身にいたわること候あい

だ、こまかならず候。細　そうろう

恐々謹言。きようきようきんげん

二月十七日にがつじゅうしちにち

日蓮にちれん

花押かおう

さじきの女房御返事棧　敷　にようぼうごへんじ